

トライアスロンとは…

トライアスロンとは、ラテン語で「トライ」が数字の三、「アスロン」が競技を意味します。つまり、三種類の複合競技という意味で、スイム(水泳)、バイク(自転車)、ラン(マラソン)を同一選手が連続して競技し、その総合タイムを競う競技です。この三種目はスポーツの中でも最も過酷と言われているものばかりです。

歴史

トライアスロンはアメリカズカッブが開催された米国カリフォルニア州サンディエゴで一九七四年に誕生しました。学生が面白半分に提案したのが、その発端と言われています。誕生からわずか二十年という他に

種類

例をみない短期間で、世界百を超える国に普及し、二〇〇〇年のシドニーオリンピックでは正式種目として採用されることが決定しています。初期のころは、耐久競技としてスイム三・九km、バイク一八〇・二km、ラン四二・一九五kmのフルトライアスロン(アイアンマン・ディスタンス)もありましたが、国際標準距離(オリンピック・ディスタンス)が設定されてからは、約八割の大会が今回のような距離で行われるようになりました。オリンピック、世界選手権を頂点として日本選手権、東海ブロック選手権、愛知県選手権等の大会はすべてこの距離で行われています。競技の性格としては、二通りあり、人間の体力の限界に挑戦するダブル・

ワールドカップシリーズ

アイアンマンやトリプル・アイアンマンの流れの外に、遊び心を追及した雪上・氷上・登山トライアスロンなどがあります。スキー、スケート、サッカー等ワールドカップと銘打った大会は、他の競技でもあります。トライアスロンも一九八九年に国際トライアスロン連合(ITU)が設立されて、世界選手権が始まり、一九九一年からシリーズ化され、年間十戦ほど行い各戦ごとにポイントをつけて、シリーズ優勝を競うとともに、最終戦の世界選手権へと興味を盛り上げています。日本においては、一九九三年に熊本県の天草で、翌年には天草と大阪で開催されました。蒲郡大会はこれに続くものです。

蒲郡で開催される理由…

蒲郡開催が決まった理由の一つは、西暦二〇〇〇年のシドニーオリンピックで、正式種目となることをにらんだ会場設定にあります。

従来、参加型と言われていたトライアスロン競技を「見るスポーツ」「見せるスポーツ」として確立する、つまり、観客が固定した席で、三種目の競技を一望することができるところが必要になるわけです。

この条件を満たす施設が本市にあります。蒲郡競艇場がそれです。

この条件のほかに、日本のほぼ中央に位置し、交通の便の良さ、豊富な宿泊施設等が評価されて、正式に決定を受けました。

'95 トライアスロン ワールドカップ 蒲郡大会

